

危ない!!! 自転車用空気入れは しっかり点検・整備!

危ない!!!
ピストンロッドが
突き抜けた!



蓄圧
タンク

危ない!!!
蓄圧タンクが
飛んだ!

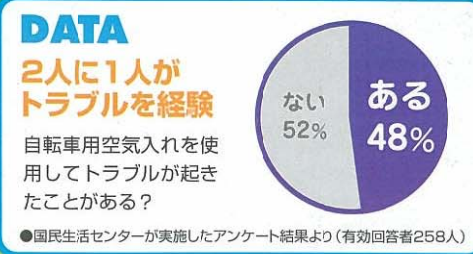


ピストンロッド



危ない!!!
キャップが外れて!
指がはさまった!

自転車用空気入れの
使用による事故やトラブルが
多発しています!
正しい使い方
で安全・安心を!



財団法人 自転車産業振興協会
<http://www.jbpi.or.jp>

KEIRIN 〇〇 このチラシは、
競輪の補助金を受けて作成したものです。

<http://keirin.jp>



安全・安心を守る 4つのポイント

1 買った後すぐに確認!



自転車用空気入れは袋に入って売られているものが多く、店頭で不具合を確認できません。買った後はすぐに、握り、キャップ、シリンダ本体に緩みや亀裂がないか、きちんと空気が入るかを確認しましょう。

2 使う前にも再確認!



自転車用空気入れの使用上の注意

- 用途以外の使用はしないでください。
- 使用時に、可動部に手や足を入れると危険です。手や足をはさまないように十分ご注意ください。
- 握りやシリンダ本体、蓄圧タンク等に強い衝撃を与えないでください。故障の原因になることがあります。
- 雨や水のかかる場所、湿気、ホコリの多い場所での使用、保管をご遠慮ください。

製造/●●株式会社 販売/■株式会社
販売店/○○サイクル TEL.00-0000-0000

使っているうちに不具合が生じることもあるので、使用前には必ず異常がないか確認。異常があった場合は使用を中止し、表示を確認したり、製造者・販売者や購入した店などに連絡しましょう。買うときに、本体に連絡先等の表示があるか確認しておくことも大切。

3 タイヤバルブのゴムに注意!



自転車用タイヤバルブ(空気を入れる部分の弁)のゴムが劣化し、空気が入らなくなることがあります。握りを押し下げる力が極端に重いときは、蓄圧タンクの内圧が高まり、飛び出す危険があるので、無理に空気を入れず自転車店などで点検してもらいましょう。

4 保管場所に気を配る!



保管場所は取扱方法に従い、雨ざらしや直射日光が当たる場所を避けましょう。シリンダ本体が金属製のものは雨ざらしにすると内部に雨水が入り、腐食して強度に影響を与える場合があります。また、直射日光の下では、紫外線によりプラスチックが劣化することがあります。

自転車業界では、JIS規格やSG基準の改正により
自転車用空気入れの安全性向上に取り組んでいます。

協力: (財)製品安全協会